

行政視察等報告書

平成27年11月4日

米子市議会議長様

会派名 公明党議員団
代表者氏名 安田 篤
提出者氏名 前原 茂



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	安田篤・前原茂・今城雅子・矢田貝香織
期日	平成27年10月19日から平成27年10月21日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容)	10/19 大阪府高石市役所 『防災機能を備えた総合体育館について』 担当 高石市教育部生涯学習課 10/20 愛知県安城市役所 『政策研究事業について』 担当 安城市企画部 10/21 愛知県半田市役所 『「マイレポはんだ」の取組について』 担当 半田市企画部企画課
〔所感〕	別紙記載
経費	旅費合計 208,000円

○大阪府高石市 『防災機能を備えた総合体育館について』

高石市 総務部危機管理課 神林孝幸 課長

高石市 教育部生涯学習課 杉本忠史 課長

本年4月1日にオープンした高石総合体育館は、阪神大震災や東日本大震災の教訓を生かし、万が一の災害時には防災機能を備えた市民の安全を守る災害支援の拠点と位置付けられている。

設備としては、①かまどベンチ（通常は屋外のベンチであるが、非常時には座席部分を裏返して、かまどとなる。）

②大型自家発電機（屋外型で、出力としては150KVAあり、950リットルの軽油で、最大40時間の稼働可能）

③LPガス接続装置（地域は都市ガス使用であるが、災害時にはLPガスに切替が可能）④マンホールトイレ（20基準備、屋外の下水道管路のマンホールの上に、簡易式トイレが設置可能 最大1420人の屋外避難を想定）

⑤災害用備蓄倉庫（災害時用食料・水 毛布、医薬品、ガスボンベ・簡易更衣室・マンホールトイレキットなどを備蓄）

⑥シャワールーム（2階には避難生活用のシャワー設備を5基設置）

⑦地下に大型雨水貯蔵槽を設置（マンホールトイレなどに使用）

なお、約6万人の高石市では昨年1万3000人による避難訓練を行っている。本年も同規模の避難訓練を11月5日の予定している。

米子市においても、防災拠点となる体育館の新設を考えるべきである。

○愛知県安城市 『政策研究事業について』

安城市 企画部 荻須 篤 行革政策監（兼 みらい創造研究所統括監）

市の今後の将来展望を勘案して、安定した行政運営のために大学などの専門機関と連携し、新しい発想を取り入れた機関、シンクタンクを組織する。

みらい創造研究所は、以下の機能を有する。

A) 調査研究機能（実効性を伴う政策提言を行うため、様々な情報の分析や研究を行う）

B) 政策支援機能（政策実現に向けて必要とされる情報を各部署、関係機関へ提供する）

C) 人材開発機能（市民にとっての行政の価値と満足度を高め、研究所からの情報発信を通して、行政職員としての政策形成能力の向上を図る。）

また、副市長を所長として、単独機関として独自性を有する。

米子市においても、今後このような政策研究機関の設置が必要である。

○愛知県半田市 『マイレポはんだの取組について』

半田市 企画部企画課 工藤浩司

携帯電話（スマートフォン）やパソコンを利用して、道路の修繕や公園の遊具の不備、ゴミの問題などを通報するシステム。

「Fix My Street Japan」を利用した行政サービスである。基本的にはアプリやソフトの使用料は発生しない。半田市では、平成25年7月～8月に実証実験を行い、昨年10月より本運用となった。

今までは、身近な問題に対してどこへ連絡してよいかわからない。役所が開いてる時間には連絡できない。状況や場所を伝えるににくいなど、市民にとって行政は身近な存在とは思われていなかったが、このシステムにより、より容易に連絡が取れ、画像により状況もわかりやすい。

また、時間に関係なく情報を送信できるので、市民にとってのメリットは大きい。

是非とも、当市においても導入を検討すべきである。